別記様式

令和２年度学校評価報告書

令和３年３月２２日

北海道教育委員会教育長　様

北海道東川高等学校長　元　村　治　郎

次のとおり令和２年度の学校評価について報告します。

１　本年度の重点目標

学校の特色をさらに強調しつつ生徒一人ひとりの個性を生かす、創意あふれる教育実践を推進する。
（１）校訓とディプロマポリシーの浸透を図り、豊かな心を育み、一人ひとりの可能性を高める実践を推進する。
（２）地域の理解や協力を得ながら、新たな教育課程を編成し、地域に開かれ信頼される学校づくりを推進する。
（３）教職員の使命の自覚と経営参画意識の高揚により、資質能力の向上を図る。

２　自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	・学校教育の根幹をなす学習指導面で、相対的に評価が低くなっている。生徒の実態に応じた授業作りを推進する中で、学ぶ喜びを実感し、主体的な学びの姿勢を育成するための工夫が一層必要である。 ・本校教育の特色である「国際理解教育」を一層推進する必要がある。	・家庭学習の取組が不十分であると感じられる。外部テストを有効に活用するなどして、基礎学力の定着に向け引き続き取り組む必要がある。
改善方策	生徒の実態に応じた授業作りを推進する中で、主体的な学びの姿勢を育成するための工夫を行う。	
生徒指導	・生徒の個々の状況に応じたきめ細かな指導を概ね実践できた。 ・地域との連携については不十分な面があり、今後一層の地域連携を推進し、地域に根ざした学校づくりに取り組む。	・当初の目標をおおむね達成している。引き続き各活動の推進を希望する。
改善方策	一層の地域連携を進め、東川町の特色を活かした学校作りをすすめる。	
進路指導	・大部分の生徒で希望の進路を実現させることができた。一方で、３年間を見通したキャリア教育の充実をより一層充実させる必要がある。	・東川高校の特色である福祉・介護関係への進路指導を充実させることや、キャリア教育を一層充実させることを希望する。
改善方策	進路指導を通じて、自己の生き方を探究させる取組を一層推進する。	
健康安全指導	・他者を尊重する心の育成や、いじめの未然防止に向けた生徒の主体的活動の推進に一定の成果を上げることができた。	・当初の目的を一定程度達成しているが、具体的な指導内容が伝わっていないため、保護者や地域により情報発信することを希望する。
改善方策	引き続き、様々な領域で安心・安全な学校づくりを推進する。	
公表方法	学校ホームページで公表する。	

３　添付資料　令和元度北海道東川高等学校学校評価一覧（自己評価書、学校関係者評価書）